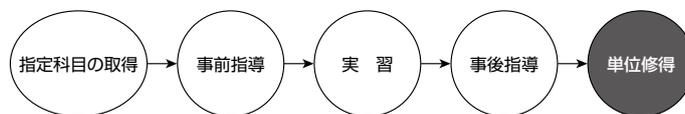


# 実習について

教育実習、養護実習、保育実習、社会福祉援助技術現場実習、精神保健福祉援助実習、介護実習、看護実習、博物館実習、介護体験実習等の概要についてまとめたものです。各実習の詳細、申込み手続きについては、各実習ごとの「手引き」によりますが、まず自分の該当する実習のアウトラインをつかんでください。

## 「実習」の流れ



No.	実習の種類	該当する免許・資格	実習期間
1.	幼児教育実習	幼稚園教諭一種・二種	4週間
2.	初等教育実習	小学校教諭一種・二種	4週間
3.	中学校教育実習	中学校教諭一種・二種	4週間
4.	高等学校教育実習	高等学校教諭一種	2週間
5.	養護実習	養護教諭一種	4週間
6.	保育実習	保育士資格	[保育実習]を参照
7.	社会福祉援助技術現場実習	社会福祉士受験資格、高等学校教諭一種(福祉)	24日間
8.	精神保健福祉援助実習	精神保健福祉士受験資格	24日間
9.	介護実習	高等学校教諭一種(福祉)	10日間
10.	看護実習	養護教諭一種	6日間
11.	博物館学実習Ⅰ	博物館学芸員	※
12.	博物館学実習Ⅱ	博物館学芸員	2週間を原則
13.	介護体験実習	小・中免取得者	7日間

※「博物館学実習Ⅰ」は事前指導と事後指導において実施します。

## 社会福祉援助技術現場実習（社会福祉士受験資格）、高等学校教諭一種免許状（福祉）

（平成21年以降入学生は法改正により実習の扱いも細部が異なります。詳しくは7頁で確認してください。）

本学で社会福祉士国家試験受験資格を得ようとする方、および高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得しようとする方は、「社会福祉士および介護福祉士法」、「教育職員免許法」に規定するところに従い、「社会福祉援助技術現場実習」の単位の修得が必要となります。

なお、社会福祉国家試験受験資格に係るこの実習の目標は以下の通りです。

- (1) 現場体験を通して社会福祉専門職（社会福祉士）として仕事をするうえで必要な「専門知識」「専門援助技術」および「関連知識」の内容の理解を深めてください。
- (2) 「専門知識」「専門援助技術」および「関連知識」を実際に活用し、相談援助業務に必要な資質・能力・技術を習得してください。
- (3) 職業倫理を身につけ、福祉専門職としての自覚にもとづいて行動できるようにしてください。
- (4) 具体的な体験や援助活動を、専門的な援助技術として概念化し理論化し体系だてていくことができる能力を涵養してください。
- (5) 関連分野の専門職との連携のあり方およびその具体的内容を理解してください。

### I 現場実習基礎資格について

「社会福祉援助技術現場実習」を実施するために次記の要件を充足していることが必要です。

- (1) 社会福祉士受験資格に必要な学習をしていること。

#### 児童学科 社会福祉コース

##### 【1年次入学生】

科目名		単位	要件
専 門 科 目	社会福祉学Ⅰ	2	単位を修得済みのこと
	社会福祉学Ⅱ	2	
	社会福祉援助技術論	8	
	社会福祉援助技術演習	4	スクーリングを受講して単位を修得済みのこと。
	老人福祉論Ⅰ・Ⅱ	2.2	左記の科目より1科目を修得済みのこと。（Ⅰ・Ⅱとも） ※実習施設に関連する科目が望ましい。
	障害福祉論Ⅰ・Ⅱ	2.2	
	児童福祉学Ⅰ・Ⅱ	2.2	

以上20単位

上記の他に、全学共通科目10単位以上（聖徳教育を含む）  
基礎科目群より10単位以上

を修得済みであることが必要です。

総計40単位を修得済みであることが必要です。

##### 【2年次編入生】

上記1年次入学生に準じますが、認定単位との関係がありますので、本学まで問い合わせてください。

##### 【3年次編入生】

上記1年次入学生の専門科目の単位数（20単位）に準じます。

- (2) 社会福祉援助技術現場実習指導（事前指導）をスクーリングにおいて受講していること。
- (3) 社会福祉専門職に就く意志の強固な方であること。
- (4) 健康でかつ実習施設の正常な相談援助活動を妨げる恐れのない方。

実習先によって健康診断書、細菌検査等が必要となりますので各自確認してください。

※13頁に実習基礎資格チェックリストがありますので参照してください。



- ② 4単位をまとめて実施します。

#### A 施設

1 施設で24日間以上なおかつ180時間以上の実習を行います

注 1 施設での実習期間は、実習開始日から終了日までが56日間以内としてください。

### (2) 実習時期・学年

Iの現場実習基礎資格を充足しているとともに、4月生は3年次10月以降、10月生は3年次4月以降を原則とします。(3年次編入生は4年次以降とします)

ただし、卒業を予定する方は、下記期限までに実習を完了していなければ、卒業と同時に社会福祉士受験資格を取得することはできません。

- ① 3月卒業予定…前年12月25日まで
- ② 9月卒業予定…同年6月30日まで

### (3) 実習施設の選定

現場実習の実施施設は次の適用を受ける施設とします。

- ① 地域保健法（昭和22年法律第101号）の規定により設置される保健所
- ② 児童福祉法（昭和22年法律第164号）に規定する児童相談所、母子生活支援施設、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設及び児童家庭支援センター
- ③ 医療法（昭和23年法律第205号）に規定する病院及び診療所
- ④ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）に規定する身体障害者更生相談所及び身体障害者福祉センター
- ⑤ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に規定する精神保健福祉センター
- ⑥ 生活保護法（昭和25年法律第144号）に規定する救護施設及び更生施設
- ⑦ 社会福祉法（昭和26年法律第45号）に規定する福祉に関する事務所
- ⑧ 売春防止法（昭和31年法律第118号）に規定する婦人相談所及び婦人保護施設
- ⑨ 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）に規定する知的障害者更生相談所
- ⑩ 老人福祉法（昭和38年法律第133号）に規定する老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター及び老人介護支援センター
- ⑪ 母子及び寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）に規定する母子福祉センター
- ⑫ 介護保険法（平成9年法律第123号）に規定する介護保健施設（指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設）及び地域包括支援センター
- ⑬ 障害者自立支援法（平成17年法律第123号）に規定する障害者支援施設、地域活動支援センター、福祉ホーム及び障害福祉サービス事業（生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を行うものに限る。）又は相談支援事業を行う施設

## 社会福祉士養成に係る実習に関する基準の見直しについて

平成21年4月より、下記のように社会福祉援助技術現場実習について変更点がありました。

該当する学生はご確認をお願いいたします。

### ① 実習指導者の要件見直し（平成21年4月施行）

実習施設に配置される実習指導者は次の要件のいずれも満たさなければならない。

- ・社会福祉士として3年以上の実務経験を有する
- ・社会福祉士実習指導者講習会を修了している

ただし、以下のように経過措置があります。

※1 社会福祉士相談援助指導講習会は平成24年3月31日までに修了すれば良い。

※2 現行、実習指導者として位置づけられている社会福祉主事等として8年以上相談援助に従事した者、または平成21年3月31日までに社会福祉法人全国社会福祉協議会の実習指導者研修過程を修了している者についても、当分の間実習指導者とすることが出来る。

※3 平成20年度に社団法人日本社会福祉士会が厚生労働省の補助金を受けて行う実習指導者講習会については、社会福祉士実習指導者講習会に含まれる。

## ② 実習適用施設の範囲拡大（平成21年4月施行）

次の施設等が新たに加われました。

- ・ 乳児院、児童家庭支援センター
- ・ 広域障害者職業センター、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター
- ・ 更生保護施設
- ・ 小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所、居宅介護支援事業所
- ・ 旧精神障害者社会復帰施設
- ・ 一定の要件を満たす独立型社会福祉事務所

## (4) 実習の申込みについて

### ① 実習施設の確保について

1 実習施設は学生各自が確保してください。

2 実習施設の確保については、施設に自ら足を運び、実習のお願いをしてください。その際、施設が前に述べた施設に該当しているかどうかを確認してください。（「WAMNET」(ワムネット)でも確認してください。※WAMNETとは、独立行政法人福祉医療機構が運営している、福祉・保健・医療の総合情報サイトです）

3 実習期間（2回に分けて行う場合は12日間以上かつ90時間以上、1回で行う場合は24日間以上で、かつ180時間以上必要）を十分説明し、実習期間、日数に不足が生じないよう依頼してください。

### ② 実習の手続き

詳細については、現場実習事前指導で説明しますが、概ね以下の通りです。

内 諾…実習事前指導の際に大学より配布する「社会福祉援助技術現場実習の手引き」の中にとじ込みの「社会福祉現場実習受入れ内諾書」を施設に提出し、同書の内諾欄に施設（機関）長の署名・捺印を得てください。

申込み…実習施設の内諾が得られましたら、「社会福祉援助技術現場実習の手引き」の中にとじ込みの必要書類（現場実習自己開拓報告書、学生個人票、出勤簿等）を作成し、内諾書と共に本学へ送付してください。

※課程履修費は、すでに徴収していますが、それを上回る場合は、自己負担とすることがあります。

※「社会福祉援助技術現場実習の手引き」、「実習ノート」は、実習事前指導当日に配布します。

## 参考

### 自己開拓実習申込みまでの流れ（実習先の選定から内諾、申込み）

実習施設・機関を探す（実習可能な施設種別であるか等を確認する）

実習希望施設・機関へ連絡する

- ① 自己紹介後、社会福祉援助技術現場実習を希望している旨を伝える。
- ② 実習の依頼は、どのような手順で行えばよいかを尋ねる。
- ③ 実習担当者との面談を予約する。

（注）電話をかける際は、施設・機関職員が忙しい時間帯（月曜日の午前中や食事時間帯など）を避けること。担当者が不在の場合は、いつごろからかけ直したらよいかを尋ね、相手の都合に合わせるよう心掛けること。

実習担当者との面談を行なう

- ① 「実習の手引き」にある「社会福祉援助技術現場実習について（お願い）」を提出してから、実習についての主旨を説明する。

（注）複数の施設と面接する場合「社会福祉援助技術現場実習について（お願い）」はコピーして使用すること。

（注）面談日までに「実習の手引き」に必ず目を通しておくこと。

#### 〈説明のポイント〉

- 1 社会福祉受験資格取得のための実習である。
- 2 実習期間は4週間実習では24日間以上（180時間以上）、2週間実習では12日間以上（90時間以上）であること。（実習期間については、担当者によく相談すること。）
- 3 実習の目標については、「実習の手引き」を参考にすること。
- 4 なぜ、その施設・機関を実習先として選択したのか、また、自分自身の実習目標についても明確に伝えること。
- 5 大学から正式に実習依頼の手続が行なわれる旨を伝える。

実習生として受入の許可（内諾）を得る

実習申込み後、大学から正式に実習依頼の手続が行なわれる旨を伝える。

（注）お礼を述べ、可能であれば事前に施設見学をさせてもらう。

所定の期間に内諾書・自己開拓報告書・誓約書・個人票・出勤票・連絡票・評価表・WAMNETの写し等の提出（大学へ実習申込み）

### ③ 提出期限

実習開始日の2ヵ月前まで（必着）

- 1 実習施設によるオリエンテーション…実習施設の指示により事前打合せを十分行ってください。
- 2 現在勤務している施設での実習実施については認めますが、次のことに注意してください。
  - ・「現場実習」の実施施設に該当していること。
  - ・実習期間中は勤務を離れ、本学学生として実習に専念してください。

### ④ 実習録の提出と返送

- 1 実習終了後、すみやかに施設（実習指導者）に「実習ノート」を提出してください。「実習ノート」

はお礼をかねて、直接受け取りに行ってください。内容を確認後すみやかに、本学に送付してください。

「評価表」は施設から本学に送付されます。

2 施設からの「評価表」と「実習ノート」をもとに採点し、事後指導終了後、実習の評価が確定します。

「実習ノート」は評価確定後、各自に返送します。

## 社会福祉学科（平成21年度入学生～）

### I 現場実習基礎資格について

「社会福祉援助技術現場実習」を実施するために次記の要件を充足していることが必要です。

(1) 社会福祉士受験資格に必要な学習をしていること。

#### 【1年次入学生】

	科目名	単位	要件
専 門 科 目	社会福祉学Ⅰ（含職業指導）	2	単位を修得済みのこと
	社会福祉学Ⅱ	2	
	社会保障論Ⅰ	2	
	社会保障論Ⅱ	2	
	地域福祉論Ⅰ	2	
	医学一般	4	スクーリング受講、レポート提出により単位を取得済みのこと。
	ソーシャルワーク論	8	単位を修得済みのこと。
	高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ	2・2	左記の科目より1科目を修得済みのこと。（Ⅰ・Ⅱとも） ※実習施設に関連する科目が望ましい。
	障害福祉論Ⅰ・Ⅱ	2・2	
	児童福祉学Ⅰ・Ⅱ	2・2	
	就労支援論	2	
更正保護制度論	2		

※平成24年度入学生より「医学一般」が「医学一般Ⅰ・Ⅱ」、「ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ」となります。

以上24～26単位（社会福祉援助技術演習をスクーリングで受講済みであることが望ましいです。）

上記の他に、全学共通科目10単位以上（聖徳教育を含む）を修得済みであることが必要です。

総計34～36単位を修得済みであることが必要です。

#### 【2年次編入生】

上記1年次入学生に準じます。

#### 【3年次編入生】

上記1年次入学生の専門科目の単位数（24～26単位）に準じます。

(2) 社会福祉援助技術現場実習指導（事前指導）をスクーリングにおいて受講していること。

(3) 社会福祉専門職に就く意志の強固な方であること。

(4) 健康でかつ実習施設の正常な相談援助活動を妨げる恐れのない方。

実習先によって健康診断書、細菌検査等が必要となりますので各自確認してください。

※15～16頁に、実習基礎資格チェックリストがありますので、ご参照ください。

## II 実習単位数・時間・時期

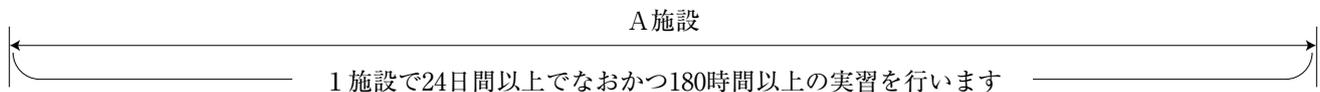
社会福祉援助技術現場実習は4単位分の実習を行うことになります。

実習の期間は、実務で24日間以上で、かつ180時間以上が必要です。

1日における実務実習時間は、原則として8時間としますが、実習施設の勤務体制に準ずるものとします。

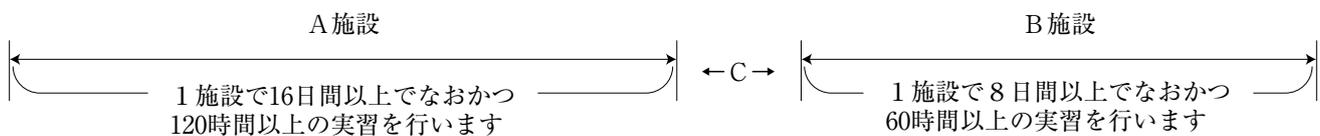
## III 実施方法

(1) 次のいずれかの方法によります。



注 ①施設での実習期間は、実習開始日から終了日までが56日間以内であること

② 2回実習



注 ① A施設とB施設は同じ施設でもよい。

② A施設での実習終了からB施設での実習開始までの期間Cは任意とする。

③ 1施設での実習期間は、実習開始日から終了日までがAは16日以上120時間以上、Bは8日以上60時間以上であること。

(2) 実習時期・学年

Iの現場実習基礎資格を充足しているとともに、4月生は3年次10月以降、10月生は3年次4月以降を原則とします。(3年次編入生は4年次以降とします)

ただし、卒業を予定する方は、下記期限までに実習を完了していなければ、卒業と同時に社会福祉士受験資格を取得することはできません。

① 3月卒業予定…前年12月25日まで

② 9月卒業予定…同年6月30日まで

### (3) 実習施設の選定

現場実習の実施施設は次の適用を受ける施設とします。

- ① 地域保健法（昭和22年法律第101号）の規定により設置される保健所
- ② 児童福祉法（昭和22年法律第164号）に規定する児童相談所、母子生活支援施設、乳児院・児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設及び児童家庭支援センター
- ③ 医療法（昭和23年法律第205号）に規定する病院及び診療所
- ④ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）に規定する身体障害者更生相談所、及び身体障害者福祉センター
- ⑤ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に規定する精神保健福祉センター及び（旧）精神障害者社会復帰施設
- ⑥ 生活保護法（昭和25年法律第144号）に規定する救護施設及び更生施設
- ⑦ 社会福祉法（昭和26年法律第45号）に規定する福祉に関する事務所
- ⑧ 売春防止法（昭和31年法律第118号）に規定する婦人相談所及び婦人保護施設
- ⑨ 知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）に規定する知的障害者更生相談所
- ⑩ 老人福祉法（昭和38年法律第133号）に規定する老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター及び老人介護支援センター
- ⑪ 母子及び寡婦福祉法（昭和39年法律第129号）に規定する母子福祉センター
- ⑫ 介護保険法（平成9年法律第123号）に規定する介護保険施設及び地域包括支援センター
- ⑬ 障害者自立支援法（平成17年法律第123号）に規定する障害者支援施設、地域活動支援センター、福祉ホーム及び障害福祉サービス事業（生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援を行うものに限る。）又は相談支援事業を行う施設
- ⑭ 前各号に掲げる施設に準ずる施設として厚生労働大臣が認める施設（更生保護施設・障害者職業センター・認知症対応型共同生活・介護事業所・独立型社会福祉事務所など）

※上記の適用を受けていない施設で実施しても、単位認定および国家試験の受験はできません。

※実習施設には資格をもった実習指導者がいるうえで、事前に実習先としての届出が必要となります。

※勤務施設での実習は、勤務を離れ本学学生として実習に専念することを原則に認める場合があります。

## 社会福祉士養成に係る実習に関する基準の見直しについて

平成21年4月より、下記のように社会福祉援助技術現場実習について変更点がありました。

該当する学生はご確認お願いいたします。

### ① 実習指導者の要件見直し（平成21年4月施行）

実習施設に配置される実習指導者は次の要件のいずれも満たさなければならない。

- ・社会福祉士として3年以上の実務経験を有する
- ・社会福祉士実習指導者講習会を修了している

ただし、以下のように経過措置があります。

※1 社会福祉士相談援助指導講習会は平成24年3月31日までに修了すれば良い。

※2 現行、実習指導者として位置づけられている社会福祉主事等として8年以上相談援助に従事した者、または平成21年3月31日までに社会福祉法人全国社会福祉協議会の実習指導者研修過程を修了している者についても、当分の間実習指導者とすることが出来る。

※3 平成20年度に社団法人日本社会福祉士会が厚生労働省の補助金を受けて行う実習指導者講習会については、社会福祉士実習指導者講習会に含まれる。

### ② 実習適用施設の範囲拡大（平成21年4月施行）

次の施設等が新たに加われました。

- ・乳児院、児童家庭支援センター
- ・広域障害者職業センター、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター

- ・更生保護施設
- ・小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型共同生活介護事業所、特定施設入居者生活介護事業所、居宅介護支援事業所
- ・旧精神障害者社会復帰施設
- ・一定の要件を満たす独立型社会福祉事務所

#### (4) 実習の申込みについて

##### ① 実習施設の確保について

- 1 実習施設は学生各自が確保してください。
- 2 実習施設の確保については、施設に自ら足を運び、実習のお願いをしてください。その際、施設が前に述べた施設に該当しているかどうかを確認してください。（「WAMNET」(ワムネット)でも確認してください。※WAMNETとは、独立行政法人福祉医療機構が運営している、福祉・保健・医療の総合情報サイトです）
- 3 実習期間（2回に分けて行う場合は16日間以上かつ120時間以上と8日間以上かつ60時間以上、1回で行う場合は24日間以上で、かつ180時間以上必要）を十分説明し、実習期間、日数に不足が生じないよう依頼してください。

##### ② 実習の手続き

詳細については、現場実習事前指導で説明しますが、概ね以下の通りです。

内 諾…実習事前指導の際に大学より配布する「社会福祉援助技術現場実習の手引き」の中にとじ込みの「社会福祉現場実習受入れ内諾書」を施設に提出し、同書の内諾欄に施設（機関）長の署名・捺印を得てください。

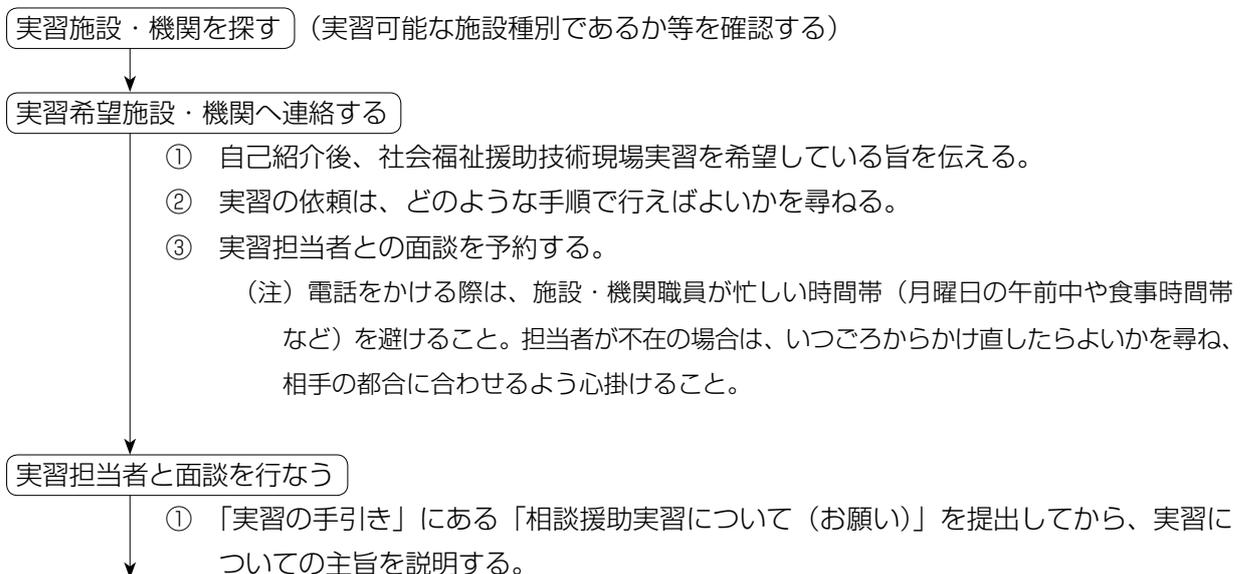
申込み…実習施設の内諾が得られましたら、「社会福祉援助技術現場実習の手引き」の中にとじ込みの必要書類（現場実習自己開拓報告書、学生個人票、出勤簿等）を作成し、内諾書と共に本学へ送付してください。

※課程履修費は、すでに徴収していますが、それを上回る場合は、自己負担とすることがあります。

※「社会福祉援助技術現場実習の手引き」、「実習ノート」は、実習事前指導当日に配布します。

#### 参考

##### 自己開拓実習申込みまでの流れ（実習先の選定から内諾、申込み）



(注) 複数の施設と面接する場合「相談援助実習について (お願い)」はコピーして使用すること。

(注) 面談日までに「実習の手引き」に必ず目を通しておくこと。

#### 〈説明のポイント〉

- 1 社会福祉受験資格取得のための実習である。
- 2 実習期間は4週間実習では24日間以上 (180時間以上)、2回実習では16日間以上 (120時間以上) と8日間以上 (60時間以上) で1回目は相談援助の実習をすること。2回目は別のところでも可である。(実習期間については、担当者とよく相談すること。)
- 3 実習の目標については、「実習の手引き」を参考にすること。
- 4 なぜ、その施設・機関を実習先として選択したのか、また、自分自身の実習目標についても明確に伝えること。
- 5 大学から正式に実習依頼の手続が行なわれる旨を伝える。

実習生として受入の許可 (内諾) を得る

実習申込み後、大学から正式に実習依頼の手続が行なわれる旨を伝える。

(注) お礼を述べ、可能であれば事前に施設見学をさせてもらう。

所定の期間に内諾書・自己開拓報告書・誓約書・個人票・出勤票・連絡票・評価表・WAMNETの写し等の提出 (大学へ実習申込み)

#### ③ 提出期限

実習開始日の3ヵ月前まで (必着)

- 1 実習施設によるオリエンテーション…実習施設の指示により事前打合せを十分行ってください。
- 2 現在勤務している施設での実習実施については認めますが、次のことに注意してください。
  - ・「現場実習」の実施施設に該当していること。
  - ・実習期間中は勤務を離れ、本学学生として実習に専念してください。

#### ④ 実習録の提出と返送

- 1 実習終了後、すみやかに施設 (実習指導者) に「実習ノート」を提出してください。「実習ノート」はお礼をかねて、直接受け取りに行ってください。内容を確認後すみやかに、本学に送付してください。「評価表」は施設から本学に送付されます。
- 2 施設からの「評価表」と「実習ノート」をもとに採点し、事後指導終了後、実習の評価が確定します。「実習ノート」は評価確定後、各自に返送します。

## 国家試験について

試験科目は、午前 (10:00~12:00) 10科目 (「人体の構造と機能及び疾病」・「心理学理論と心理的支援」・「社会理論と社会システム」・「現代社会と福祉」・「地域福祉の理論と方法」・「福祉行財政と福祉計画」・「社会保障」・「低所得者に対する支援と生活保護制度」・「保健医療サービス」・「権利擁護と成年後見制度」) と午後 (13:30~15:30) 9科目 (「社会調査の基礎」・「相談援助の基盤と専門職」・「相談援助の理論と方法」・「福祉サービスの組織と経営」・「高齢者に対する支援と介護保険制度」・「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」・「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」・「就労支援サービス」・「更生保護制度」) の実施となります。

平成24年度の日程について。受験申込受付期間、9月6日~10月5日、試験日、平成25年1月27日。合格発表は平成25年3月15日となっています。受験手数料は7,540円となっています。試験地は北海道、青森、

岩手、宮城、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、島根、岡山、広島、香川、愛媛、福岡、熊本、鹿児島、沖縄の各都道府県。

在學生は、卒業見込み（3月卒業予定者のみ）で受験ができますが、卒業ができなかった場合は、受験資格を満たさなかったものとして、この試験は無効となります。

**※9月卒業生の受験は翌年の1月になります。**

---

児童学科 (社会福祉学科は次頁に記載)

■社会福祉士、精神保健福祉士受験資格

			1年次入学生, 2年次編入生		3年次編入生		
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄	
専 門 科	社 会 福 祉 士	社会福祉学Ⅰ	2	すべて修得 (16単位)		同左	
		社会福祉学Ⅱ	2				
		社会福祉援助技術論	8				
		社会福祉援助技術演習 (※)	4				
		老人福祉論Ⅰ	2				いずれか 1科目(Ⅰ・ Ⅱ合わせて) 選択 (4単位)
		老人福祉論Ⅱ	2				
		障害福祉論Ⅰ	2				
		障害福祉論Ⅱ	2				
		児童福祉学Ⅰ	2				
		児童福祉学Ⅱ	2				
	精 神 保 健 福 祉 士	社会福祉学Ⅰ	2	すべて修得 (12単位)		同左	
		社会福祉学Ⅱ	2				
		精神保健福祉援助技術総論	4(1)				
		精神保健福祉援助技術各論	4(1)				
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	10単位以上 ※聖徳教育を 含む				
	言語と文化Ⅱ	2					
	日本国憲法	2					
	自然と数理Ⅰ	2					
	女性と子どもⅠ	2					
	女性と子どもⅡ	2					
	生活の科学Ⅰ	2					
	生活の科学Ⅱ	2					
	英語	2					
	体育	2					
	情報活用	2					
	聖徳教育	2					
基 礎 科 目 群	児童学の保健学的基礎Ⅰ	2	10単位以上				
	児童学の保健学的基礎Ⅱ	2					
	児童学の心理学的基礎Ⅰ	2					
	児童学の心理学的基礎Ⅱ	2					
	児童学の社会学的基礎Ⅰ	2					
	児童学の社会学的基礎Ⅱ	2					
	児童学の教育学的基礎Ⅰ	2					
	児童学の教育学的基礎Ⅱ	2					
	児童学の福祉学的基礎Ⅰ	2					
	児童学の福祉学的基礎Ⅱ	2					
	卒業研究	4					
合 計			102				

- ・入学年度により、「社会福祉援助技術演習」が8単位の場合があります。
- ・単位数の( )内は、併用科目のスクーリング単位数の内訳です。

社会福祉学科 (平成17年～平成20年度入学生のみ該当)

社会福祉士、精神保健福祉士受験資格			1年次入学生		3年次編入生	
授業科目名		単位	要件	チェック欄	要件	チェック欄
専 門 科 目	共 通	社会福祉学Ⅰ (含職業指導)	2	すべて修得 (14単位)		同左
		社会福祉学Ⅱ	2			
		社会保障論Ⅰ	2			
		社会保障論Ⅱ	2			
		地域福祉論Ⅰ	2			
		医学一般	4(1)			
	社会福祉士	社会福祉援助技術論	8	修得のこと(8単位)		同左
		老人福祉論Ⅰ	2	いずれか 1科目(Ⅰ・ Ⅱ合わせて) 選択 (4単位)		
		老人福祉論Ⅱ	2			
		障害福祉論Ⅰ	2			
		障害福祉論Ⅱ	2			
		児童福祉学Ⅰ	2			
	児童福祉学Ⅱ	2				
	精神保健福祉士	精神保健福祉援助技術総論	4(1)	すべて修得 (8単位)		同左
		精神保健福祉援助技術各論	4(1)			
		精神医学	4(1)			
		精神保健学	4(1)			
		精神保健福祉論	6(2)			
	全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	10単位以上 ※聖徳教育を 含む		/
言語と文化Ⅱ		2				
日本国憲法		2				
自然と数理Ⅰ		2				
女性と子どもⅠ		2				
女性と子どもⅡ		2				
生活の科学Ⅰ		2				
生活の科学Ⅱ		2				
英語		2				
体育		2				
情報活用		2				
聖徳教育		2				
合 計		84				

- ・社会福祉士は「社会福祉援助技術演習」をスクーリングで受講していることが望ましいです。
- ・単位数の( )内は、併用科目のスクーリング単位数の内訳です。

社会福祉学科 (平成21年～平成23年度入学生)

■社会福祉士、精神保健福祉士受験資格

授業科目名			1年次入学生		3年次編入生	
	単位	要件	チェック欄	要件	チェック欄	
専 門 科 目	共通	社会福祉学Ⅰ (含職業指導)	2	すべて修得 (14単位)	同左	
		社会福祉学Ⅱ	2			
		社会保障論Ⅰ	2			
		社会保障論Ⅱ	2			
		地域福祉論Ⅰ	2			
		医学一般	4(1)			
	社会福祉士	ソーシャルワーク論	8	修得のこと(8単位)	同左	
		高齢者福祉論Ⅰ	2	左記の科目より1科目を修得済みのこと。(Ⅰ・Ⅱとも) ※実習施設に関連する科目が望ましい		
		高齢者福祉論Ⅱ	2			
		障害福祉論Ⅰ	2			
		障害福祉論Ⅱ	2			
		児童福祉学Ⅰ	2			
		児童福祉学Ⅱ	2			
		就労支援論	2			
		更正保護制度論	2			
	精神保健福祉士	精神保健福祉援助技術総論	4(1)		すべて修得 (8単位)  2科目以上修得	同左
		精神保健福祉援助技術各論	4(1)			
		精神医学	4(1)			
		精神保健学	4(1)			
精神保健福祉論		6(2)				
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ	2	10単位以上 ※聖徳教育を含む			
	言語と文化Ⅱ	2				
	日本国憲法	2				
	自然と数理Ⅰ	2				
	女性と子どもⅠ	2				
	女性と子どもⅡ	2				
	生活の科学Ⅰ	2				
	生活の科学Ⅱ	2				
	英語	2				
	体育	2				
	情報活用	2				
	聖徳教育	2				
	合 計	84				

- ・社会福祉士は「社会福祉援助技術演習」をスクーリングで受講していることが望ましいです。
- ・単位数の( )内は、併用科目のスクーリング単位数の内訳です。

社会福祉学科 (平成24年度入学生)

■社会福祉士、精神保健福祉士受験資格

			1年次入学生		3年次編入生			
授業科目名			要件	チェック欄	要件	チェック欄		
専 門 科 目	共 通	社会福祉学Ⅰ (含職業指導)	2	すべて修得 (14単位)		同左		
		社会福祉学Ⅱ	2					
		社会保障論Ⅰ	2					
		社会保障論Ⅱ	2					
		地域福祉論Ⅰ	2					
		医学一般Ⅰ	2(1)					
		医学一般Ⅱ	2					
	社 会 福 祉 士	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	修得のこと(8単位)		同左		
		ソーシャルワーク論Ⅱ	6					
		高齢者福祉論Ⅰ	2					
		高齢者福祉論Ⅱ	2					
		障害福祉論Ⅰ	2					
		障害福祉論Ⅱ	2					
		児童福祉学Ⅰ	2					
児童福祉学Ⅱ	2							
精 神 保 健 福 祉 士	就労支援論	2	左記の科目より1科目を修得済みのこと。(Ⅰ・Ⅱとも) ※実習施設に関連する科目が望ましい					
	更正保護制度論	2						
	精神保健福祉援助の基盤 (基礎)	2(1)				すべて修得 (12単位)		同左
	精神保健福祉援助の基盤 (専門)	2(1)						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ	4(1)						
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ	4(2)						
	精神医学	4(1)						
精神保健学	4(1)							
精神保健福祉論	4(2)							
精神障害者の生活支援システム	2	1科目以上修得						
全 学 共 通 科 目	言語と文化Ⅰ				2	10単位以上 ※聖徳教育を含む		
	言語と文化Ⅱ				2			
	日本国憲法				2			
	自然と数理Ⅰ				2			
	女性と子どもⅠ				2			
	女性と子どもⅡ				2			
	生活の科学Ⅰ	2						
	生活の科学Ⅱ	2						
	英語	2						
	体育	2						
	情報活用	2						
	聖徳教育	2						
	合 計	84						

- ・社会福祉士は「社会福祉援助技術演習」をスクーリングで受講していることが望ましいです。
- ・単位数の( )内は、併用科目のスクーリング単位数の内訳です。